

2022年1月27日

公益財団法人SOMPO福祉財団

社会福祉学術文献表彰事業
第23回「SOMPO福祉財団賞」受賞文献の決定

公益財団法人SOMPO福祉財団（理事長：二宮雅也）は、社会福祉に関する優れた学術文献を表彰する「SOMPO福祉財団賞」の受賞文献を決定しました。また、財団賞にはおよばないものの、優れた著作（佳作）であると評価された、特に若手の著者を対象とした「SOMPO福祉財団奨励賞」の受賞文献も決定しました。なお、受賞者には2022年3月16日（水）に、オンラインによる贈呈式を開催します。

1. SOMPO福祉財団賞（賞状、記念品と研究・出版助成金100万円）

（1）受賞文献

著書名：『障害基礎年金と当事者運動—新たな障害者所得保障の確立と政治力学』

著者：高阪 悌雄 氏（名寄市立大学保健福祉学部社会福祉学科教授）

出版：株式会社明石書店 2020年8月発行

（2）「SOMPO福祉財団賞」について

本賞は、日本における優れた社会福祉学術文献を表彰する制度です。

1999年に創設し、今年度で23回目となります。

同賞が、社会福祉学の学問的探求を目指す方の研究意欲の促進につながり、その研究成果が日本の社会福祉の発展に大きく寄与することを目的としています。

過去の受賞者（要旨）についてはこちらをご覧ください。

https://www.sompo-wf.org/katsudou/hyousyou_list.html

（3）受賞記念講演会について

2022年7月9日（土）には、グランドアーク半蔵門（東京都千代田区）において、受賞者による講演会の開催を予定しています。

2. SOMPO福祉財団奨励賞（賞状、記念品と研究・出版助成金50万円）

著書名：『独居高齢者のセルフ・ネグレクト研究—当事者の語り』

著者：鄭 熙聖 氏（関東学院大学社会学部現代社会学科准教授）

出版：株式会社法律文化社 2020年7月発行

<SOMPO福祉財団について>

SOMPO福祉財団は、損害保険ジャパン株式会社の出捐を受け、社会貢献活動の一翼を担う財団として設立された公益法人です。同財団の主な活動は本助成のほか、社会福祉団体に対するNPO基盤強化資金助成、自動車購入費助成、海外助成、介護福祉士養成のための奨学金の給付、社会福祉・社会保険・損害保険・ジェロントロジー（老年学）等に関する研究助成や研究会・講演会の開催を行っています。

以上